

参加者感想

【参加期間】 2012年8月18日 ～ 8月28日

【参加されたプログラム名】 ベトナム孤児院&日本語ボランティア

【参加の動機】

数は少ないですが、今まで色々な活動に微力ながらも参加してきましたが、海外での活動に一度参加してみたいと思ったのがきっかけです。また、日本とアジア諸国の文化や環境における相違点や類似点に興味があったので少しでも長い期間現地に滞在して、色々知りたいと思い参加させて頂きました。



【印象に残ったこと・感動したこと】

ベトナムは2年前に一度旅行で訪れたことがあり、その時“食べ物おいしい・雑貨がかわいい・暑い”だけではなく、日本とは違う独特の色使いや、伝統的な文化、また、街全体が活気に溢れてるのにどこかゆったりとした時間が流れている雰囲気などにとっても魅了されました。

中国やフランスによる統治、そして長く辛い戦争を乗り越え、今まさに急激に発展をしている国なんだ、という感覚を持ちました。

今回は色々な人と出会い、直接触れ合ったりできたため、ベトナム人の持つ温かさや人なつっこさを知ることができました。

孤児院の子供達や、日本語学校の生徒の方々、さらには街で少し会話を交わしたような方々の優しい笑顔がとても印象深かったです。

空き時間に戦争認証博物館や美術館など、ベトナムをより知れる場所に行けたのもよかったです。

【大変だったこと】

毎日のようにスクールが降り足止めを食らうことには参りましたが、特にすごく大変だったことはありませんでした。安全面に関しても、自分自身が色々なことに気をつけていれば大丈夫です。

心配だった移動についても最初にしっかり教えていただいたのですぐに慣れました。

強いて言えば、市内からホテルに戻るバスでうっかり寝過ごしてしまったときは少し焦りました。すぐ気が着いたのでその場で降ろしてはもらえましたが、言葉もわからないので危険だなと思いました。

【楽しかったこと】

孤児院、学校、街中、店、バスの中、ホテル、、、どこにいても楽しかったです!!

とくに、日本語学校の方々がおしゃれなカフェや少し離れた海に連れて行ってくれたことは、忘れられない思い出です。

【持ち物について】

基本的にはなんでも現地調達ができますが、持って行って正解だったのは、

- ・ビーチサンダル…クロックスを履いて行きましたが現地ではほぼビーチサンダルで行動しました。
暑い雨は降るし、孤児院では靴を脱いだり履いたりを何度もするのでスニーカーの子は少し大変そうでした。
- ・帽子……………曇っているときが多かったのであまり利用しませんでした。日が出ているときはものすごく日差しが強かったので持って行って良かったです。
- ・大きめのメモ帳…言葉がわからないので人の名前や場所の名前・値段などを書いてもらったり、図で示したりするのにとても重宝しました。気がついたことや一日の日記もここに記入していました。
- ・洗濯ひも……………短期間だったので洗濯はほとんどしませんでした。いくつか洗った物や雨などで濡れたものを乾かすのに便利でした。
- ・小さいバッグ…大きなカメラやペットボトルなどを持ち歩いていたため普段は大きいショルダーバッグを使用していましたが、ホテルに近いスーパーやコンビニに行くときは小さいショルダーを使用しました。
市内で買い物をしたときは袋がかさばったり、そもそも袋に入れてくれない店もあるのでエコバッグが役立ちました。

その他(折り畳み傘、日本のお菓子や雑貨・遊び道具、アラーム時計、日焼け止め、虫除けや薬類、ドライヤー、ガイドブックetc)

持って行けばよかったのは電子辞書です。日本語学校で難しい質問をされたときに、その場でさっと調べられず失敗しました。

【現地での服装について】

日本の夏と同じ格好です。ただ、孤児院で子供達と遊んだり市内でも足場の良くない場所を歩いたり、雨も降るので、とにかくさっぱりした動きやすい服装が最適だと思いました。冷房がすごく効いている場所もなかったので、毎日半袖に短パン・ビーチサンダルで行動していました。バイクタクシーを利用する日は、ビーチサンダルはただか脱げそうだったので私はクロックスを履いていました。実際、脱げてしまったらしきサンダルがよく道に落ちてました。現地の方は、日焼けを気にしてか長袖長ズボンのスタイルも多く見られました。



【現地の物価】

安すぎる！というものもあれば、日本とあまり変わらないものもありました。市場などは値段のついていない物が多いため相場をよく調べてから買い物をしないと、すごく高い額を言われて気がつかず買ってしまうので、注意が必要でした。(不良品や賞味期限の切れているものもたまにまぎれてます。)

値段交渉はドキドキしますが慣れるとちょっと楽しかったです。

日本では高かったり売ってないフルーツもすごく安く手に入るので色々食べてみました。

【コミュニケーション手段(言葉の問題など)について】

ベトナム語は発音がとても難しく、本に書いてあるカタカナの通りに言っても全く通じないので、“指差し会話帳”とメモ帳とペンは肌身離さず持ち歩きました。これらは孤児院、街中、ホテル、日本語学校など全ての場所で利用しました。メモ帳は相手に渡して何かを書いてもらったり、図やイラストで示したりもしました。また、聞きたいことや言いたいことを先に会話帳で調べてメモ帳に書き込んでおくのは、いちいち本の中を探する必要がなくなりスムーズでした。(例えば、場所の名前・ここに行きたい/5000円から・3000円だけ両替・したい・できますか?など)市内のお店は日本語を話せる店員さんがたくさんいて、安心するのと共に驚きました。また、高校生や大学生などは英語が堪能な方が多いので、英語でコミュニケーションをすることでお互いのことを話せ、仲良くなれました。

【ステイ先の情報・感想】 ホテル

ホテルでの滞在は誰かに気を使う必要もないので、とても良かったです。事前に読ませて頂いた体験レポートにもたくさん書かれていましたが、スタッフの方が優しく、部屋は清潔感があり、大変快適に過ごせました。着いてすぐパスポートを預かって頂き、最終日までしっかり保管しておいてもらえました。私が滞在した部屋はwifiも入ったし、虫なども来ませんでした。シャワーの具合が悪かったのか、お湯が出なかったのですが「まあいっか」とそのまま水を浴びてすごしました。(言えばもちろん修理してくれます)バスタオル2枚と足拭きマット、枕を毎日取り替えてくれましたし、ゴミ箱やグラス、ティッシュも使うと替えておいてくれました。トイレトペーパーはなくなると自分でもらいに行きました。

【派遣(ボランティア)先について】 どこでどんな活動をしましたか

孤児院と日本語学校で活動しました。孤児院では私はほぼずっと、障害のある子どもたちのお部屋にいました。午前



9時から12時くらいまで一緒に遊んだり、一人では食べるのが難しい子の食事の介助をしました。食べ終わるとお昼寝の時間になるので、寝る体制に入るまでをお手伝いしました。(それ以上部屋にいと子供達が寝てくれないのでここで退散です。) だいたいみんなこの時点で帰るのですがなんとなく私は少しでも長い時間そこにいたくて、他のお部屋を覗いたり、昼寝をしない子と外でシャボン玉をしたりして、境内を散策してから帰っていました。

日本語学校はだいたい夕方16時からか18時からのクラスに参加し、短いと2時間、長いと4時間くらいいました。生徒の方がやってきた宿題の答え合わせや音読を手伝い、あいまに色々な会話をしました。先生が「一緒に話すことで文法や発音など全ての勉強になる」とおっしゃっていたので、たくさん質問したり、自分のことも写真やイラストを交えながら話したりしました。ゆっくり、正しい日本語で話しかけるよう心がけましたが、相手の間違いなどをわかりやすく説明するのが難しかったです。

【やってみたかった事・やり残した事】

自分で動ける時間が多かったことや日本語学校の生徒の方々に大変良くして頂けたのもあって、想像していたよりずっと盛りだくさんな充実した毎日を送ることができました。

ただ私は10日間という短い期間だったので、“もっと居られればもっと色々なものを見れて、知れたらうな”という思いが強く残っています。

【その他、自由にご記入ください】 写真大歓迎！！

本当にたくさんのことを経験させて頂けた、濃く充実した10日間でした。

ベトナムがわたしにとって、もっと大好きな国になりました。

この歳の、この時期に、このプログラムに思い切って参加してよかった！

貴重な経験をさせてくれたCECの方々、親そして現地の皆さん、本当に本当にありがとうございました。

また必ず成長して訪問したいと思います！



日本語学校の皆とカフェへ。



連れて行ってもらった”vung tau” のビーチ。



Vung tau のキリスト像。この内部を登って行きビーチを眺めました。



市内からホテルへは28番のバスで移動。



孤児院のあるお寺の入口。



子供たちが本当にかわいかったです！

該当項目以外を消してください。

女性（ご参加時年齢） 22歳

ご協力ありがとうございます。今後のプログラムに役立てさせていただきます。

参加者感想

【参加期間】 2012年 9月 4日 ~ 9月 17日

【参加されたプログラム名】 ベトナム孤児・日本語ボランティア

【参加の動機】

何か海外でボランティアをしてみたいと前から思っていました。インターネットでボランティアのプログラムを探していたらCECを見つけて、それをきっかけに参加を決めました。前からアジアの国に興味があったのと、孤児院でボランティアをしたいという思いから今回のベトナムプログラムに決めました。

【印象に残ったこと・感動したこと】

ベトナムに行って印象に残ったことや感動したことはたくさんあります。ベト



ナムについてすぐに驚いたことは、バイクの多さです。これはとても印象に残りました。バイクだけではなくベトナムの交通事情には驚きの連続でした。

私が一番印象に残っているのは孤児院です。オリエンテーションの時にアンさんとグループのみんなと初めて孤児院に行くととても衝撃を受けました。私が予想もしていなかった障害を持っている子供がいてその時はとても驚いたし、戸惑ってしまいました。

感動したことは、食べ物がおいしいところです。私はとても好き嫌いが多くてたべものには一番困るだろうと思っていましたが、ベトナムの食事はすべておいしくてとても感動しました!!そして、日本では見られない珍しいフルーツなどを食べることも感動でした。あと、ベトナムはコーヒーがほんとに美味しかったです。お土産にも買って帰りました。

自由行動の時にグループのみんなといった戦争博物館はとても印象に残っています。ベトナム戦争の時に使われた爆弾や戦争の影響で体に障害を持って生まれてきたしまった人たちの写真がたくさんありました。戦争当時の生々しい写真もたくさんありました。日本がかかわった戦争については学校で少し勉強しましたが、ベトナム戦争については触れるのが初めてだったので初めて知ることがたくさんでした。戦争でまかれた枯葉剤の影響で生まれた障害を持った子供の写真が展示してあってその症状と同じ症状の子が孤児院にもいて戦争の影響は現在にも残っているということを知りとても驚きました。

感動したことは孤児院の子供がとても明るいことでした!!そして私たちがくるととても喜んでくれてたくさん遊んでくれたことにも感動でした。わかばに行った時も感動しました。初対面なのにとても快く私たちを受け入れてくれました。みなさん元気よく「こんにちは」とあいさつをしてくれるし中には私のことを‘先生’と呼んでくれる方もいました。みなさんととても熱心に日本語を学んでいてとても感動しました。自分も何かに熱心に取り組みたくなりました。

【大変だったこと】

私はプログラム中に熱を患ってしまっ1日、わかばを休んでしまいました。私は今回、いろいろな薬を持っていったつもりだったけれど解熱剤や風邪薬を持っていくのを忘れていました。なので、一緒にボランティアに来ていた友達に薬を貰ったりいろいろと迷惑をかけてしまいました。とても申し訳なかったです。

道を渡るのが最初はとても大変でした。歩行者の信号はあまりないので自力で渡るしかなくてとても怖かったです。でもすぐに慣れて道も難なく渡れるようになりました。

バスやお店などで話しかけてくれたベトナムの方がいました。でもなにを言っているのかわからず困ってしまい

ました。せっかく話しかけてくれたのに答えることができずにとても申し訳なかったです。

わかばで日本語を教えている生徒さんに日本語の質問をされたが、うまく言葉で伝えることができずに苦労しました。言葉で伝えづらいことは絵をかいて説明したら伝わったのでよかったです。

大変ではなかったですが、タクシーに乗る際やバスに乗る際に私たちは目的地をベトナム語で伝えることができなかったのでアンさんやホテルの人にメモを書いてもらいました。そのメモにとても助けられました。バスの場合はバスターミナルから28番のバスに乗り、線路を超えたら席から立つと次のバス停で止まってくれます。そこがホテルの最寄りのバス停です!!タクシーは38・27・27. 27と書いてあるタクシーがお勧めです!!早くつきます。(ちょっと運転が荒いですが・・・WWW)

【楽しかったこと】

孤児院でのボランティアがとても楽しかったです。子供たちから私たちに寄って来てくれるので何の戸惑いもなく遊ぶことができました。最初に自分が感じた衝撃や不安などは遊んでしまえば一切感じませんでした。子供たちが笑ってくれることがただ単純に嬉しくて、楽しくて夢中で遊んでいました。毎日孤児院に行くのが楽しみでした。



週末にいったメコン川のツアーも楽しかったです。

日本では絶対に見れないような自然景色や生活風景を見ることができました。ツアーではいろんなことを体験したり、ほかの国から来た観光客の人と仲良くなったりと観光以外にもいろいろな交流があって楽しかったです。

わかばの生徒さんたちといった1泊2日の海もとても楽しかったです。ドラゴンフルーツの畑に行くとれたてのドラゴンフルーツを食べたり、川に入って遊んだり、大昔に建てられた塔に行ったり、海で遊んだり、カラオケをしたり、朝早く起きてみんなで砂丘に遊びに行ったりとほんとに楽しいことしかしませんでした^^すごくみんなと仲良くなれてすごく楽しかったです!!見える景色全部がきれいで本当に感動しました。

【持ち物について】

私は荷物を持っていきすぎたと感じました。Tシャツやタンクトップを7、8枚くらい持っていきましたがそんなにかいませんでした。自分で手洗い洗濯をすれば次の日には乾きました。なので、そんなにたくさんの洋服は必要ないと感じました。

私が行った時期は毎日必ず雨が降りました。なので、折り畳み傘は必ず持っていったほうがいいと思います。雨は意外とすぐにやんだりするので脱いだり着たりするカッパはめんどくさいなあと感じました。

薬は万が一のことを考えていろいろ持っていったほうがよかったですと思いました。

わたしはナイフ、スプーン、フォーク、小さいお皿などが入った小さなアウトドアグッズ??みたいなものを持っていったのですが、ナイフはスーパーで買ったフルーツを切るときにとても役に立ちました。スプーンやフォークもフルーツを食べるときに役立ちました。

荷物はほんとに必要な最低限でいいと感じました。もし足りないものがあれば大抵に物はスーパーに売っているので現地調達できます。

【現地での服装について】

実際私は、ほぼ半袖短パンで過ごしていました。私は長袖を持っていかなくて風邪をひいたときにとても後悔したので1枚はパーカーなどを持っていったほうがいいと思いました。メコン川やクチトンネルなどに行くときは長ズボンのほうがいいと思います。もしかするとわかばの生徒さんやアンさん達と海に行くことになるかもしれないので水着とか濡れてもいいような服があったほうがいいかもしれません・・・(笑)

【現地の物価】

とても安かったです。日本とは比べものにならないくらい。朝ごはんをよく食べたバインミー(サンドイッチのようなもの)は15,000VDだったので60円くらい?とか物価は驚くほど安いです。100,000VDが400円くらい?だと思います。現地をよく食べたフォーなどもだいたい65,000VDぐらいなので260円とかだと思います。お土産代を抜けば2週間1万5千円くらいで過ごせると思います。

【コミュニケーション手段(言葉の問題など)について】

孤児院では子供と遊ぶことがメインなので言葉に困ったりすることは少なかったです。孤児院の先生は私たちにわかりやすく指をさして指示を出してくれたり、ジェスチャーなどで私にやってほしいことを表してくれたのですぐわかりました。わかばでは日本語を学んでいる学生さんたちとの会話はほぼ日本語で話していました。わからない言葉は生徒さんが通訳してくれたりもしました。少し困ったのは、市内を観光していて道を聞いたりするとき町の人はあまり英語が話せなくて私たちの質問がすぐに伝わらなかったり、逆にベトナム語で話されて何を言っているのか私たちが理解できないことでした。メコン川のツアーにはほかの国から来た観光客の人がたくさんいてみんな

な英語で話していましたが、私は英語がしゃべれないので一緒にグループで行った子に通訳してもらっていました。やはり、英語ができたほうが良いと感じました。ごはんを食べるときなどは食べたいものを指でさして注文していました。市場やドンコイ通りは日本語をしゃべれる人がたくさんいました。

【ステイ先の情報・感想】 ホテル or ホームステイ

私はわかばの近くのホテルに2週間お世話になりました。部屋は広いとはいえきれいでいいです。タオルは2枚あって毎日新しいタオルに交換してくれます。シャンプーやボディーソープはありません。でもBIG Cに売っていたので現地で買うのもいいと思います。コンセントは日本のものがそのまま使えたので助かりました。少し驚いたのは、トイレとシャワーが一緒の場所にあるということです。浴槽がないのでシャワーを浴びるとトイレの床まですびしょびしょになってしまうのでちょっと困りました。部屋に小さいゴミ箱が1つしかなかったので自分で袋の中にゴミを入れてゴミ箱にしましたが、ありがたくさん来てしまっても困りました。ホテルの人は親切です。2週間もいたので部屋番号を覚えてくれてすぐに鍵を出してくれました。

【派遣(ボランティア)先について】 どこでどんな活動をしましたか

主に平日の午前は孤児院で、昼間は個人個人自由な時間で夕方は日本語学校わかばにいきました。

孤児院では子供と一緒に遊ぶことがメインでした。9:00頃に孤児院についてそこから一緒に遊んで10:00過ぎくらいから子供たちはご飯の時間になるのでみんなを椅子に座らせてご飯を食べさせてあげました。ごはんの後はお昼寝の時間みたいだったので11:00くらいには孤児院を去っていました。12:00~16:00、日によっては18:00まで自由な時間だったので私はグループの子とお昼ご飯を食べに行ったり、ベンタン市場で買い物をしたり、ドンコイ通りでお土産を買ったり、カフェでゆっくりしたりしていました。中にはグループの子と別れて個人で行動する子もいました。夕方からはわかばで日本語を学んでいる生徒さんのお手伝いをしました。内容は日本語のテキストと一緒に読んであげたり、宿題の丸付けをしたりでした。日本語学校が終わった後には結構毎日186CAFEに通っていました。わかばの前のCAFÉです。たくさん行ったのでCAFÉのお兄さんが私たちのことを覚えてくれて話しかけてくれたり、仲良くなったりしました。

【やってみたかった事・やり残した事】

私はもう少し一人で行動してみたかったなあと思いました。一緒にいったグループの中には自由時間に個人で行動している子もいましたが、私は常に2, 3人で行動をしていました。体調が悪くなりバスターミナルからホテル

近くまで戻るバスに1人で乗ったときは頼れる人が周りにだれもいなくて不安でしたが、その分わくわくもしました。バスに乗っている人もやさしくしてくれました。1人でいた時間はとても短かったですが、全く日本語が通じない環境だから気づいたこともあるし苦勞も少し感じました。せっかく行ったのならばもう少し一人で行動してもっといろいろな経験をすればよかったと思いました。もっと現地のいろいろな人と交流しベトナム語などを使って仲良くなりたかったです。行動力と勇気が足りなかったと反省しました。あとはもっといろいろなベトナム料理を食べに行けばよかったかなと思いました。それと、アオザイを着てみたかったです。ガイドブックにアオザイを着て写真を撮ることができる場所があると書いてあったので日本にいるときからいつかみたいなのと思っていましたが、結局いけませんでした。アオザイは写真で見るとより実際に見たほうがきれいでした。日本で着物は頻繁に見るものではないですが、ベトナムではアオザイを着た人をたくさん見ました。

【その他、自由にご記入ください】 写真大歓迎！！

とても楽しい2週間でした。とてもベトナムが好きになりました。孤児院に行って障害を持ったこの大変さや孤児院で働く人の苦勞なども見えました。日本にいるときには知ることができなかったことがたくさんあってとても貴重な経験をすることができました。今回の経験で今自分が何をやりたいかや何に興味を持っているのかが明確になってきたような気がします。

日本語学校で感じたことは、ベトナムという日本から離れた場所でも日本を好きになってくれて日本語を勉強している人がいるということがうれしかったです。

ベトナムの人の印象はみんなフレンドリーでした。道を歩いて迷っていると助けてくれたひともいましたし、バスの中やスーパーで話しかけてくれた人もいました。朝よくバインミーを買っていたお店のおばちゃんもニコニコしてくれたりとても人が良かったです。

今回CECのボランティアに参加してもっといろんな国に行ってみたいと思いました。もちろんベトナムにもまた来たいと思いました。次に海外のボランティアに行くときもCECを利用したいと思います。ありがとうございました!!



〈よく食べた PHO24のフォー〉



〈孤児院で仲良くなった子〉



〈路上で売っていたフルーツ〉



〈メコン川でのツアーで!!〉



〈サイゴンスカイデッキからみたホーチミン市内〉



〈孤児院、お昼時間の準備中〉



〈ベトナムのお金、ベトナムドン〉



〈砂丘のAM7:00!!きれいでした^^〉



〈砂丘でみんなと遊びました!!〉



〈孤児院にいた小っちゃい怪獣(笑)〉



〈わかばでみんなと集合写真〉



〈孤児院、8番の部屋で遊びました☆☆〉

MY 20歳 女

参加者感想

【参加期間】 2013年3月14日 ～ 3月20日

【参加されたプログラム名】

【参加の動機】

一度も海外を訪ねたことがないため、社会に出る前に一度海外を見ておきたいと思っていました。ベトナムツアーにしたのは、身近なアジアの国を訪れてみたかったというほかはたまたま本で読んでベトナム料理やベトナムの歴史に触れる機会があったから、というくらいです。

未体験の文化に触れ、いろいろな事を知ることで自分の幅を広げられたらと思って参加しました。

【印象に残ったこと・感動したこと】

はじめにスリが多いので気をつけて、という注意を受けた際は怖いところだなと思っていました。

でも実際は、スリよりもそれを注意してくれる人のほうが多いと思います。タバコ屋のおばちゃんや飯屋のおじさん、みんな言葉も通じないのに一所懸命身振り手振りでデジカメや携帯をむき出して持つなということに注意してくれました。

他にも、料理の代金を出すのにとまどっていたらぼったくるところかまけてくれたり、落し物が無事届けられたり（他の参加者の話ですが）と、運もあったのでしょうか、ベトナムの人たちはすごくいい人たちばかりでした。

【大変だったこと】

夜出かける際、みなホテルのカードを忘れてしまいました。名前をなんとなく憶えてるし大丈夫だろ、なんて笑いな

がら出かけたものの、タクシーでほとんど同じ名前の別のホテルに着いてしまうという結果に…。バスもなく現地ガイドの方も寝ている時間帯……苦労してなんとかホテルの電話番号を見つけ辿り着いたものの、出かける際はホテルのカードは常に持ち歩いたほうが良いと思います。

【楽しかったこと】

楽しいことばかりだったので、何か一つ楽しかったこと、と言われると困りますが、日本語学校の学生さんたちやその友達とみんなで食事へ行った際、バイクに乗せてもらったのは印象深いです。ベトナムの道はバイクだらけであちらこちらからクラクションが鳴り響くような状況なので非常にスリリングでしたが、まずここくらいでしか出来ないような体験だったと思います。

【持ち物について】

(持って行って良かったもの)トイレットペーパー一巻:ホテルのものは少ないので良い保険に。 バスセット:ドライヤー、シャンプーボディーソープはホテルになかった 日本のお菓子:日本語学校や関連の集まりで配り好評 ハンガー:ホテルの備品では足りない ガイドブック:地図付必携

(今一活躍しなかったもの)折り紙:意外と使うタイミングがない 日本のマンガ:日本語学校の生徒さんの日本語レベルはあまり高くなかった

【現地での服装について】

半袖シャツ、速乾下着、ハーフパンツをメインに行きましたが、特に問題はなかったです。洗濯設備がないので速乾素材のものがいいと思います。

【現地の物価】

すごく安い、と、水を買ったりホテル近くで食事をしているだけならと思います。ただ、お土産を買ったりタクシーを利用したりしていると、それらの値段は日本よりは安いというだけで案外かかってしまうので油断は禁物。お土産用のお金は多めに残しておいたほうが良いと思います。値切りは店次第、どの道量買わない場合タカが知れています。でも値切れる店では値切って買うのが当たり前なので定価で買わないほうが良いです。

水:約20円/500ml

ホテル近くの食事:約200円/一食

いいとこの食事やお土産は400円~下手すると1000円かかったりします。一食、一つで。

【コミュニケーション手段(言葉の問題など)について】

Cam on(ありがとう)、Xin chao(こんにちは)この二つを言うだけでもけっこう喜んでもらえます。

英語は人によって通じたり通じなかったり、聞き取りやすかったり聞き取りにくかったり。これはまあ日本と同じですかね。日本語学校ではそこそこ通じましたが街では厳しめです。

日本語がわかる人も、大体はゆっくり、分かりやすい言い回しで話さないと厳しいので日本語学校などではそのように話すよう心がけるといいと思います。

基本は笑顔、挨拶、身振り手振りと指さし会話帳。全然なんとかなります。

【ステイ先の情報・感想】 ホテル or ホームステイ

自分のあつた部屋はゆうに三人は泊まれそうな広々とした部屋でした。しかし、Wifiはほとんど入らずシャワーの出は悪く小さなアリも大量に出没する部屋でした。狭かったけどWifiもよく入りシャワーも好調アリも出ない、なんて部屋もあつたので当たり外れがあるみたいですね。自分の部屋も空調は良かったですし…。

とはいえ、部屋は毎日きちんと掃除されますしお湯が出ないということもなかったので普段キャンパーの自分としては十分に快適な宿泊でした。

清掃の際バスタオルの補充がよく忘れられてましたが、言えば快く対処して下さいました。ただホテルのスタッフさんは日本語どころか英語も通じなかったりするので指さし会話帳は忘れずに。

【派遣(ボランティア)先について】 どこでどんな活動をしましたか

日本語学校ボランティア:日本語学校「わかば」で授業のお手伝い。と言っても、指示に従って一緒に読んだり会話をしたりと非常に簡単なものでした。

簡単な日本語、簡単なベトナム語、一部英語が混ざりつつ笑いながら進む楽しい授業でした。

クラスの学生さんの数がこちらのボランティアの数より少なかったのであぶれてしまって書類の添削などをしたことも…。

孤児院ボランティア:孤児院にいて主に障害を抱えていて一人で食事が出来ない子供たちにご飯を食べさせてあげたり、一緒に遊んであげたり、といった活動です。というと簡単そうに聞こえますが、健康な子供と違って遊んだり食事を手伝ったりするのも一苦労です。一人一人状態も違うので、なかなか苦戦続きでした。

厳密にはもっと小さな子供たちや、障害の軽い子供たちのところへ行くのも自由、孤児院のどこへ行ってもよく誰

かに何かを強制されるわけでもなく手伝うといった感じだったのでもっと色々見て回れば良かったかも知れませんが。

参加期間が短く少ししか参加できなかったこともあり、あまり役に発てずに終わってしまったという感想です。

【やってみたかった事・やり残した事】

- ・もっと日本語学校の授業に参加したかった
- ・もっと孤児院に行きたかった
- ・ニャチャン(海のきれいなところ)にも行きたかった
- ・チェー(ベトナム風ぜんざい)食べ損ねた
- ・もっとじっくりお土産を見たかった

期間が六日間と短かったため、もっと居たかったという思いは強いです。ただ二週間いる人はけっこう疲れてたりもしてたので自分の体力や旅行慣れなどと相談して滞在期間は決めるといいかも知れません。とても楽しく、有意義なので長くても結局心残りは出来てしまうかもしれないです。

【その他、自由にご記入ください】 写真大歓迎！！

本当に楽しい6日間でした！写真は、現地ガイドさんのお宅でホームパーティー時の様子。



該当項目以外を消してください。

男性 (ご参加時年齢) 20 歳代

ご協力ありがとうございます。今後のプログラムに役立てさせていただきます。